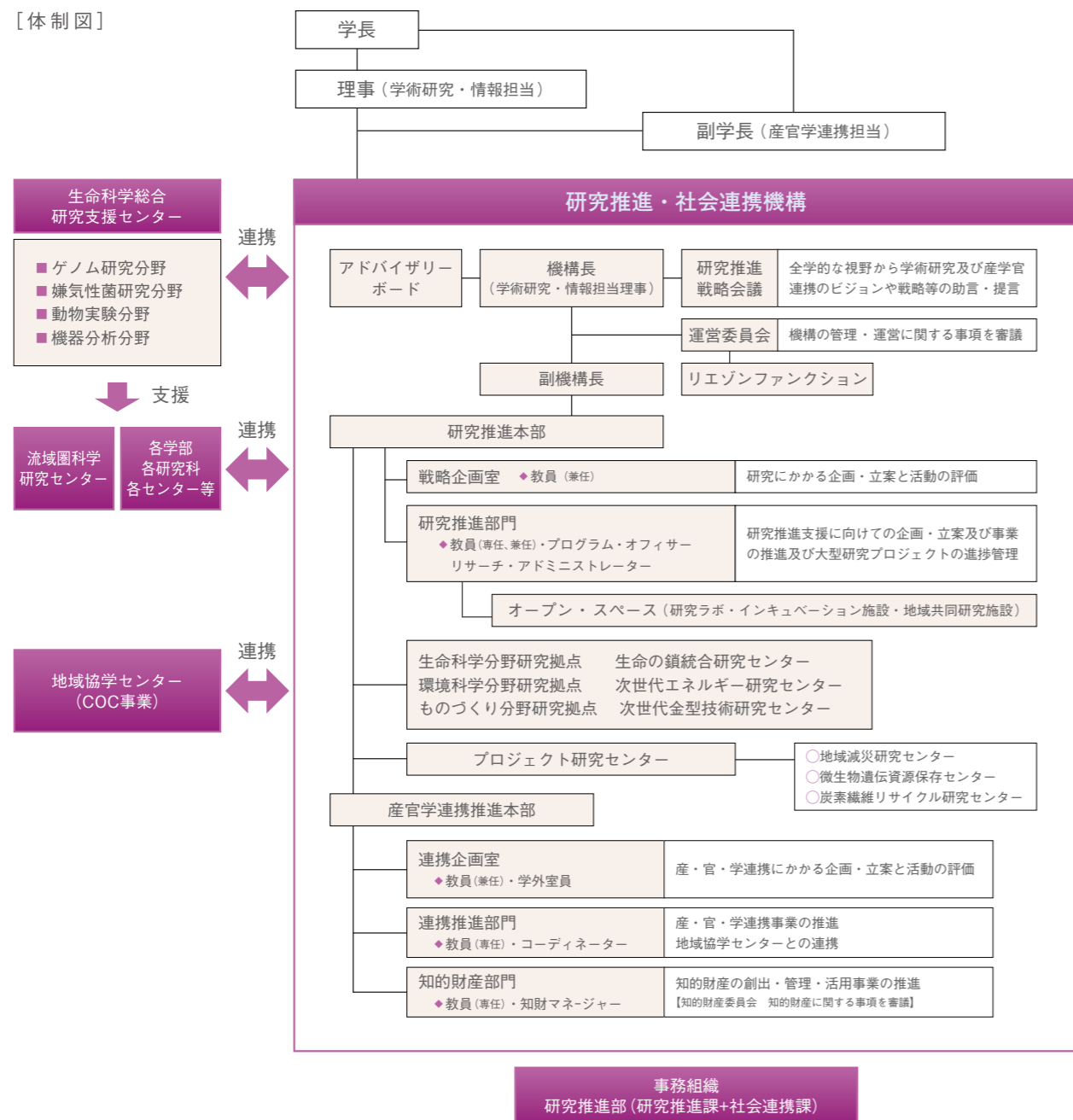


研究 Research

究める岐阜大学

研究推進・社会連携機構

[体制図]



特色ある研究の取り組み

生命科学分野拠点 生命の鎖統合研究センター (平成28年10月設置)

本センターは生命科学の研究拠点として、生命鎖(糖鎖、核酸、蛋白質)を中心とする生体関連分子の開発、生命鎖及びその周縁分子が関わる生命現象の分子基盤の解明、新たな生理活性分子、高機能性分子及び分子複合体による疾患の診断及び治療などへの医療応用並びにこれらの統合により新規創薬及び次世代型医療を可能にすることを目指します。

【研究開発部門】(人数) つくる領域部門(11名)、ひも解く領域部門(5名)、活かす領域部門(10名) 計26人

環境科学分野研究拠点 次世代エネルギー研究センター (平成27年4月設置)

水素社会による経済発展および地球温暖化緩和には、水素ステーションや燃料電池車の普及だけでなく、再生可能エネルギーを利用した安価な水素の製造と「地域社会への水素エネルギーの普及」が重要である。そのためには、化石燃料に頼らない(CO2フリー)新しい水素エネルギーシステムを実現するとともに、地域社会向けの魅力的な燃料電池製品を創出する必要がある。本センターでは、再生可能エネルギー(太陽光、風力、バイオマス)と水素製造・貯留・輸送・利用をキーワードに、多方面からのアプローチによって地域に普及する水素エネルギーシステムの確立を目指します。

【研究開発部門】(人数) 次世代太陽光発電システム研究開発部門(19)、次世代バイオマスエネルギー等研究開発部門(4)、次世代生物資源応用研究開発部門(4)、次世代エネルギーストレージ・キャリア研究開発部門(2)、次世代発電量評価技術研究開発部門(4)、次世代熱エネルギー研究開発部門(2)、次世代マルチエネルギーグリッド安定化研究開発部門(4)、次世代EV・交通・都市環境研究開発部門(2) 計41人

ものづくり分野研究拠点 次世代金型技術研究センター (平成28年4月設置)

本センターは、旧金型創成技術研究センターと旧複合材料研究センターを基盤に設置され、複合材料や軽量高強度金属などの素形材開発、CAEを活用した金型による高度な加工技術開発、IoTやロボット技術等を活用する生産システム開発といった次世代のものづくりに関する研究の遂行、先進的なものづくり実践教育カリキュラムによる人材育成事業および地域企業等と連携した技術開発事業を展開し、日本の産業界を支援している。

【研究開発部門】(人数) 素形材研究部門(15)、加工技術研究部門(11)、生産システム研究部門(15)、人材育成部門(7)、地域連携部門(7) 計55人

プロジェクト研究センター

学際領域のプロジェクト研究を推進する、特色ある3つのプロジェクト研究センターを設置している。

地域減災研究センター (平成27年4月設置)

本センターは、岐阜県と連携し、岐阜県の自然環境・社会情勢を踏まえた防災・減災に係る実践的な研究及び人材育成を行うことを目的として設置した。特に、防災の現場を熟知した県の防災担当職員と先端的な研究を担う大学教員との共同研究を行うことで、研究成果の実務面への活用を推進する。また、異常気象や地震などによる各種災害、生態系・生物多様性劣化による環境資源の変化、災害医療など、県民の安心・安全に係わる多様な問題に総合的に対処し、研究成果や情報提供などを通じた地域貢献を目指している。

【研究部門】(人数) 環境モニタリング部門(9)、減災技術開発部門(15)、災害医療部門(14)、減災社会推進部門(13) 計51人

微生物遺伝資源保存センター (平成28年4月設置)

本センターは、病原微生物株の保存センターとして微生物遺伝資源である保有微生物株を維持しており、微生物株の寄託も受け付けている。微生物株の維持保管だけでなく、分譲可能な保有微生物株及び付随する遺伝情報については分譲して社会のニーズに即した研究及び産業応用に資する微生物遺伝資源の利用促進を図り、これらの業務を通して社会に貢献することを目的としている。

【専門分野】(人数) 微生物学(主として細菌学)(3) 計3人

炭素繊維リサイクル研究センター (平成28年10月設置)

本センターは、リサイクル炭素繊維の総合研究拠点として、回収技術、中間基材および健康影響の共同開発及び品質評価手法の標準規格化を産官学共同で推進し、地域産業活性化および炭素繊維リサイクル事業の国際競争力を高めることを目的として設置した。現状で使用できるのは航空機用のCFRP屑が主であり、上下流を併せたりサイクル市場はまだ道半ばにある。航空機業界の炭素繊維機材から自動車業界へのシフトあるいはフローが始まる2020年以降には、炭素繊維メーカーやユーザの製作時の端材屑や廃材屑のリサイクルから廃機、廃車による本格的な炭素繊維廃材が排出されることが予想される。それまでにはリサイクル炭素繊維の規格化・標準化を確立し、新たに参入する回収・処理業者が対応しやすい体制を整える必要がある。そのために、学内の専門家集団および国内外メーカーやユーザが参画する産官学コンソシアムを形成し、リサイクル炭素繊維の利用拡大の受け皿を目指す。

【研究分野】(人数) 工学分野(7)、応用生物科学分野(1)

主な大型研究事業

岐阜大学は、プロジェクト研究センターの他にも、各種大型研究プロジェクトに応募し、採択されている。

文部科学省

革新的イノベーション創出プログラム (COI STREAM) (COI) プログラム

年度	プログラム名	事業協働機関
平成25年度～	COI拠点「革新材料による次世代インフラシステムの構築～安全・安心で地球と共存できる数世紀社会の実現～」	金沢工業大学、岐阜大学、他2大学、11機関
柔軟性に富み、長期間に亘って価値を失わない数世紀社会の具現化を図るため、環境性能に優れ、高機能（軽量、長期耐久性、自己修復性、難燃性等）、かつ柔軟な設計が可能で、施工がしやすく、さらには、建設後も移設やリサイクルが容易な「革新材料」を開発する。この革新材料を社会コストの低減と新たな価値の創造が可能な次世代インフラシステム等のアプリケーションに社会実装する。		

科学技術人材育成費補助事業

岐阜大学は、科学技術分野における人材の育成、確保、活躍促進のための事業に応募し、採択されている。

ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(連携型)

年度	プログラム名	拠点／実施部局等
平成27～32年度	地域循環型女性研究者育成・支援プログラム	岐阜大学、岐阜薬科大学、岐阜女子大学、アビ株式会社
<p>本事業は、岐阜大学が代表機関となり、共同実施機関である岐阜薬科大学・岐阜女子大学・アビ株式会社とともに、各々の特徴を活かして連携する取り組みである。共同研究を通じて女性研究者の研究力を強化するとともに、地域内での女性研究者の流動性を高めつつ、安定した活躍の場を確保することによって、地方創生にも繋げるプログラムである。</p> <p>本事業では、連携型共同研究プロジェクト支援によって女性研究者の研究力を強化するとともに、女性限定教員公募等のポジティブ・アクション実施、リーダーシップ育成教育等の実施により、女性研究者比率向上と女性研究者の上位職（教授、准教授・講師）登用を積極的に進めることを目標としている。</p> <p>取り組み内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ダイバーシティ研究環境整備のための取り組み 女性研究者の研究力向上のための取り組み 女性研究者の上位職への積極登用にに向けた取り組み <p>研究補助員配置制度による支援／メンター制度の体制構築 連携型共同研究プロジェクト支援／人財バンクの利用拡大 企業インターンシップの実施／トップマネジメント・セミナーの開催</p>		

テニュアトラック普及定着事業

年度	プログラム名	拠点／実施部局等
平成23～30年度	テニュアトラック普及定着事業	工学部、応用生物科学部、医学系研究科
<p>本事業は、岐阜大学の中期目標・中期計画に掲げる環境科学や生命科学系の研究を柱とした独創的、先進的な研究拠点を形成するための優秀な若手研究者を確保するため、新たな人事制度として、テニュアトラック制度を構築するものである。具体的には、国際公募の実施によって国内外の若手研究者の応募を促し、公正で透明性の高い選考方法により採用し、任期付雇用形態（テニュアトラック）から審査を経て任期のないより安定的な職を得よう、また、研究主宰者として自立した研究環境の中で研究活動を実施できるよう組織的な支援を行う。</p>		

科学研究費助成事業

科学研究費補助金・学術研究助成基金助成金（平成28年度支出実績）

研究種目	件数	直接経費（千円）	間接経費（千円）	部局別件数																					
				教育学部	教育学研究科	地域科学部	医学部	医学系研究科	医学部附属病院	工学部	工学研究科	応用生物科学部	連合農学研究所	連合獣医学研究所	連合創薬医療情報研究科	流域園科学研究所	生命科学総合研究支援センター	総合情報メディアセンター	留学生センター	保健管理センター	地域協学センター	研究推進・社会連携機構	教育推進・学生支援機構		
新学術領域研究	8	44,900	13,470					3		5															
基礎研究（A）	7	63,400	19,020	1		1				2		1	1					1							
基礎研究（B）	50	183,583	55,650	1			1	9	1	13	1	18			1	3	1	1							
基礎研究（C）	200	216,828	62,205	21	6	8	9	37	23	49	2	31		1				1	4	3	2	1	1	1	
挑戦的萌芽研究	28	32,268	9,150	3	1		3	3	2	3	1	10						1	1						
若手研究（A）	5	11,100	3,330	1				1		1		1						1							
若手研究（B）	72	71,951	21,939	7		4	3	15	13	12		13						1		1		1			2
研究活動スタート支援	7	7,900	2,370				1	1	2	2		1													
奨励研究	5	2,336	—							5															
成果公開促進費（学術図書）	2	2,000	—	1																		1			
特別研究員奨励費（国内）	15	13,792	1,378				1	1		1	1	1	3	5	1	1									
特別研究員奨励費（海外）	3	3,300	—							1		2													
総計	402	653,358	188,512	35	7	13	18	70	46	89	5	78	4	6	2	9	6	5	2	3	1	1	1	2	

※千円未満切り捨て

※件数は繰越課題を含むため延べ数。